

■ 日本画の改革者

福田 豊四郎

ふくだ とよしろう

出身地 小坂町

1904年（明治37年）～1970年（昭和45年）

従来の日本画からの脱皮と、時代に即した様式の追求に主導的役割を果たす。大いなる自然と、そこに生きる人々を描く。作品の多くは故郷秋田に主題を求め、代表作に「秋田のマリア」「ふるさとへ帰る」などがある。



年譜

- 1904年 小坂町に生まれる。本名・豊城。
- 1921年 日本画家川端龍子に弟子入り、書生となる。
- 1924年 日本画家土田麦僊の指導を受ける。
第5回帝展で「水泳ぐ児等」が初入選。
- 1928年 京都市立絵画専門学校卒業。
- 1930年 第11回帝展で「早苗曇り」が特選を受賞。
- 1934年 吉岡堅二らと新日本画研究会を結成。
- 1938年 新日本画研究会を解散し、新美術人協会を結成。
- 1948年 吉岡堅二らと創造美術を結成。
- 1970年 東京都で没。65歳。